

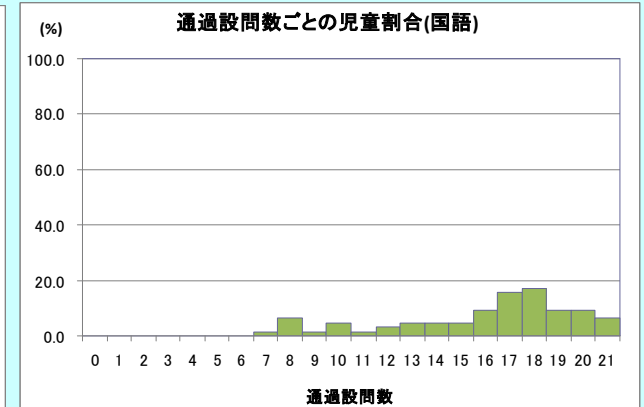
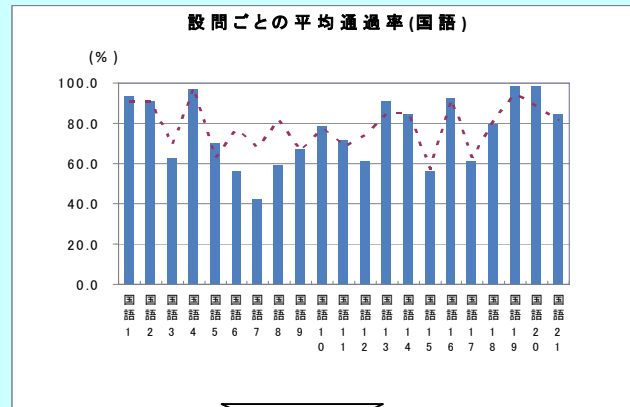
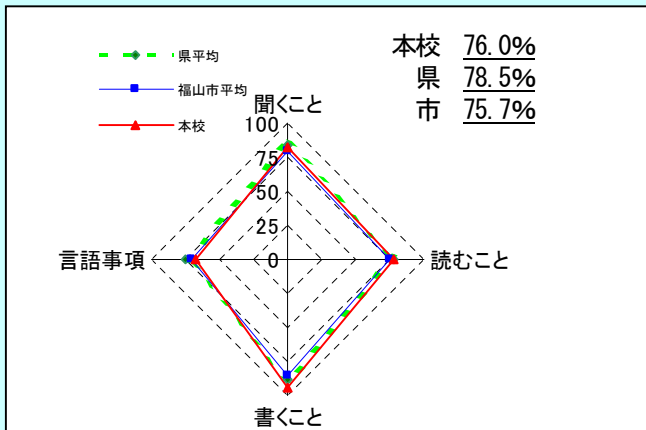
昨年度課題

- ① 主語, 述語の関係で, 述語に対しての主語を選ぶことができにくい。
- ② 心情を読み取ることと, その心情の移り変わりを決定的に示す言葉を選ぶことができにくい。
- ③ 平均通過率80%以上の児童が, 県の数値に比べ9.3%である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 主語, 述語の関係を日頃の言語活動を通してくり返し指導する。(作文・日記指導を含む)また, 授業においては, 読み取りなどの場面でくり返しパターンを提示し, 自分の考えをノートに書かせる。
- ② 聴く場面を増やし, 児童朝会等での校長先生の話などを学年に応じて, 要点をまとめ発表させる。
《本年度の目標値 ①②の設問について, 通過率を県平均以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 大問題二の1, 2の「漢字の読み書き」に, 県通過率との格差が20%以上ある。
- ◎ 大問題二の6の「国語辞典に出てくる順番」を考え, 言葉の並び替えを行う問題において, 県通過率との格差が14%以上ある。
- ◎ 平均通過率80%以上の児童の割合が, 県60.3%に対し, 本校は, 57.3%である。

取組みの検証

- 時期 2月 ○目標値 全国平均を上回る。
- 方法 標準学力検査 (CRT)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

【国語科】

- ① 新出漢字の学習を丁寧に行い, フラッシュカードの活用や教室環境整備に努めて定着を図る。また, 作文・日記等での漢字の日常的使用を進め, ドリル学習とともに, 家庭学習の進め方を指導する。
- ② 国語科を中心にして言語について, 国語辞典を使って「調べる・確かめる」という機会を多く設定する。

【全校・他教科等】

- ・「考えをまとめる」など, 書く作業を大切にする。

来年度の目標値

- 言語事項の内容について, 県の通過率を超える。
- 市のトップ10に入る。

授業改善シート〔算数〕

校番(37) 福山市立曙小学校

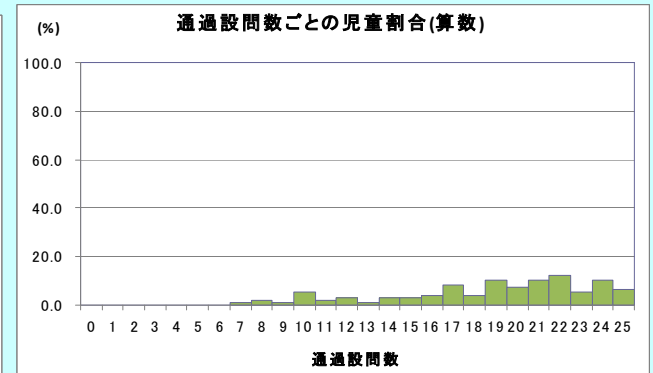
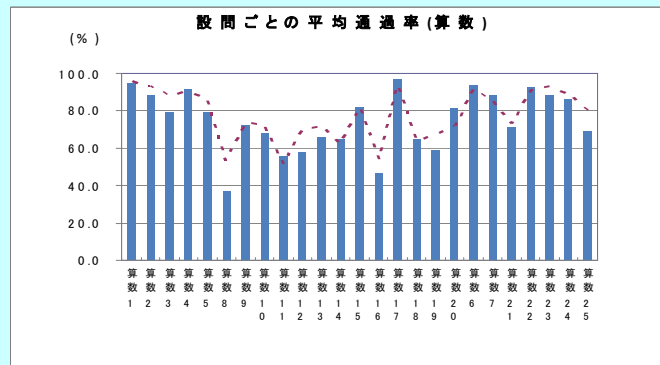
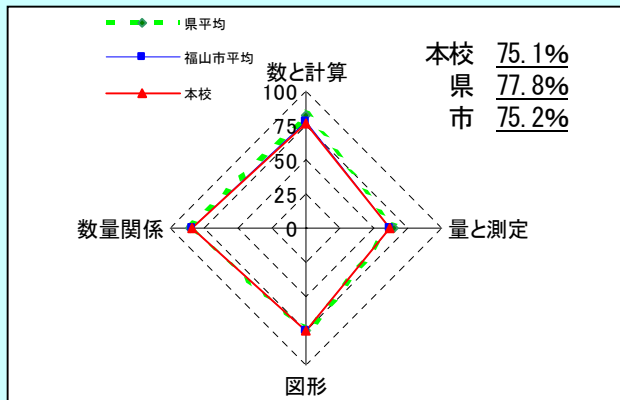
昨年度課題

- ① 「直角三角形の作図」において、ひし形の判断が不十分である。
- ② 「伴って変わる量」について、資料の正しい読み取りが不十分である。
- ③ 平均通過率80%以上の児童が、県の数値に比べ12.2%である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 算数的活動の作図についての時間を重視する。
 - ② 既習の内容を生かして、自力解決させ、練り合って便利な解決方法を実感とともに習得させる。
 - ③ 四則混合の計算を、家庭学習も含めて、計画的に取り組みさせる。
- 《本年度の目標値 ①②の設問について、通過率を県平均以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 大問題2の(1)の「単位分数の幾つ分という表し方」について、県通過率との格差が16%以上ある。
- ◎ 大問題7の「長方形を組み合わせた図形の面積の求め方」について、県通過率との格差が12%以上ある。
- ◎ 平均通過率 80%以上の児童の割合が、県 59.4%に対し、本校は、44.3%である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【算数科】

- ① 算数的活動を仕組み、操作や作業について、表現する時間を重視する。
- ② 既習の内容を生かして、自力解決させ、練り合って便利な解決方法を実感とともに習得させる。
- ③ 定義や考え方、そして、授業のまとめの表現の仕方を工夫する。
- ④ 4学年、6学年における習熟度別学習の中で、児童の定着状況に応じたよりきめ細かい指導を充実させる。

【全校・他教科等】

- ・ 児童の学習意欲の高揚のために、校舎内の環境整備を進める。

取組みの検証

- 時期 2月 ○目標値 全国平均を上回る。
- 方法 標準学力検査 (CRT)

来年度の目標値

- 県の通過率を超える。
- 市のトップ10に入る。